

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
320229	X-21-B-1-320229	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
中国語 1 cA				姜 杰裕	【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
					【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
					【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

授業目的

発音と声調が中国語習得の難関だと言われている。それを克服するために前期は発音、声調、ピンインを重点において、繰り返し練習を重ね、ピンインと声調が正しく聞き取れ、書ける。その上に正しく発音できるようにする。また中国語の基本的な文の構造を理解し、簡単な挨拶、会話と簡単な自己紹介が出来るようになり、以後の更なる中国語学習に基礎を築く。

各回の授業内容

<p><b>第1回</b> 【授】 中国語について簡単紹介 単母音。 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。</p> <p><b>第2回</b> 【授】 複母音・声調記号のつけ方 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。</p> <p><b>第3回</b> 【授】 子音① 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。</p> <p><b>第4回</b> 【授】 子音②・声調の変化・轻声・ル音化 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。</p> <p><b>第5回</b> 【授】 発音の総復習・確認テスト 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習と書き取りを行う。ここまでのピンインと声調の総復習を行う。予習復習に4時間。</p> <p><b>第6回</b> 【授】 「初対面 1」 【前・後】 付属のCDを利用して本文が暗記できるほど音読する。単語の書き取りを行う。テストで指摘されたところを重点に復習。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第7回</b> 【授】 「初対面 2」 【前・後】 付属のCDを利用して単語と本文の音読練習、書き取りを行う。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第8回</b> 【授】 指示代名詞の使い方・疑問文 【前・後】 付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p>	<p><b>第9回</b> 【授】 「買い物」 数量詞① 【前・後】 付属のCDを利用して単語と本文の発音練習と書き取りを行う。1～100までの数字を流暢に言えるように繰り返し練習する。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第10回</b> 【授】 「家族」 数量詞② 【前・後】 付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。数量詞を中心に聞き取りと言う練習を繰り返す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第11回</b> 【授】 復習・確認テスト 【前・後】 付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。ここまでの内容をまとめ総復習を行う。予習復習に4時間。</p> <p><b>第12回</b> 【授】 形容詞の使い方・所有と存在の文法 【前・後】 付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第13回</b> 【授】 時間① 【前・後】 付属のCDを利用して単語と本文発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第14回</b> 【授】 時間② 【前・後】 付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。ここまでの総復習を行う。予習復習に4時間。</p> <p><b>第15回</b> 【授】 期末試験 【前・後】 ここまでの総復習をする。予習復習に4時間。</p> <p><b>第16回</b> 【授】 作文（事前にテーマをお知らせする） 【前・後】 これまで習った文法、単語をや活用して簡単な作文を書く。</p>
---	--

成績評価方法

発音、四声の正しさ、ピンインの読み書き能力を重視する。授業時間を有効利用して、正しい発音を身につけるために、積極的に授業に参加することを求める。成績は期末試験（40%）、小テスト（15%）、授業態度・授業参加（15%）、宿題（15%）を合わせて総合的に評価する。テストは採点して返却し、解説を行う。また、口頭発表を採点して、改善点を指導する。

教科書・参考書

『新・ゼロから学ぶ中国語一検定試験合格への道のり』 著者 周一川・郭海燕・賈曦（同学社）

受講に当たっての留意事項

中日辞典（紙媒体ないし電子辞書）を必ず持参すること。  
授業状況により予定を変更することがある。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		○

学習到達目標

発音と四声の徹底した練習を通して、ピンイン符号の読み書きが正確にできるようにする。簡単な自己紹介が流暢に話せ、漢詩一首暗誦、簡単な挨拶ができるように、中国語を話す、聴く、読む、書くための基礎能力を身につける。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320229	X-21-B-1-320229	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
担当教員				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
中国語 1 cB	姜 杰裕			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

#### 授業目的

発音と声調が中国語習得の難関だと言われている。それを克服するために前期は発音、声調、ピンインを重点において、繰り返し練習を重ね、ピンインと声調が正しく聞き取れ、書ける。その上に正しく発音できるようにする。また中国語の基本的な文の構造を理解し、簡単な挨拶、会話と簡単な自己紹介が出来るようになり、以後の更なる中国語学習に基礎を築く。

#### 各回の授業内容

<p><b>第1回</b> 【授】 中国語について簡単紹介 単母音。 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。</p> <p><b>第2回</b> 【授】 複母音・声調記号のつけ方 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。</p> <p><b>第3回</b> 【授】 子音① 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。</p> <p><b>第4回</b> 【授】 子音②・声調の変化・轻声・ル音化 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。</p> <p><b>第5回</b> 【授】 発音の総復習・確認テスト 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習と書き取りを行う。ここまでのピンインと声調の総復習を行う。予習復習に4時間。</p> <p><b>第6回</b> 【授】 「初対面 1」 【前・後】 付属のCDを利用して本文が暗記できるほど音読する。単語の書き取りを行う。テストで指摘されたところを重点に復習。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第7回</b> 【授】 「初対面 2」 【前・後】 付属のCDを利用して単語と本文の音読練習、書き取りを行う。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第8回</b> 【授】 指示代名詞の使い方・疑問文 【前・後】 付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p>	<p><b>第9回</b> 【授】 「買い物」 数量詞① 【前・後】 付属のCDを利用して単語と本文の発音練習と書き取りを行う。1～100までの数字を流暢に言えるように繰り返し練習する。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第10回</b> 【授】 「家族」 数量詞② 【前・後】 付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。数量詞を中心に聞き取りと言う練習を繰り返す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第11回</b> 【授】 復習・確認テスト 【前・後】 付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。ここまでの内容をまとめ総復習を行う。予習復習に4時間。</p> <p><b>第12回</b> 【授】 形容詞の使い方・所有と存在の文法 【前・後】 付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第13回</b> 【授】 時間① 【前・後】 付属のCDを利用して単語と本文発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第14回</b> 【授】 時間② 【前・後】 付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。ここまでの総復習を行う。予習復習に4時間。</p> <p><b>第15回</b> 【授】 期末試験 【前・後】 これまで習った内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p><b>第16回</b> 【授】 作文（期末試験前にテーマをお知らせする） 【前・後】 習った文法を活用、簡単な作文を書く。</p>
---	---

#### 成績評価方法

発音、四声の正しさ、ピンインの読み書き能力を重視する。授業時間を有効利用して、正しい発音を身につけるために、積極的に授業に参加することを求める。成績は期末試験（40%）、小テスト（15%）、授業態度・授業参加（15%）、宿題（15%）を合わせて総合的に評価する。テストは採点して返却し、解説を行う。また、口頭発表を採点して、改善点を指導する。

#### 教科書・参考書

『新・ゼロから学ぶ中国語一検定試験合格への道のり』 著者 周一川・郭海燕・賈曦（同学社）

#### 受講に当たっての留意事項

中日辞典（紙媒体ないし電子辞書）を必ず持参すること。  
授業状況により予定を変更することがある。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		○

#### 学習到達目標

発音と四声の徹底した練習を通して、ピンイン符号の読み書きが正確にできるようにする。簡単な自己紹介が流暢に話せ、漢詩一首暗誦、簡単な挨拶ができるように、中国語を話す、聴く、読む、書くための基礎能力を身につける。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習